



新しい世紀を迎え…日中共同プロジェクトがスタート!

——昨秋、第2回拡大世話人会“日中交流の集い”を開催——

昨年11月13日、宋慶齡基金会日中共同プロジェクト委員会(略称JCC)は、第2回拡大世話人会及び“日中交流の集い”を京王プラザホテル八王子で開催しました。中国宋慶齡基金会より俞貴麟副主席、劉啓林前副主席、王丹丹对外連絡処主任が出席されました。拡大世話人会ではJCC発起人である世話人と維持会員等34名の出席のもとに、日中の相互理解を目指して、主として共同プロジェクトの進行状況と今後の方針について話合われました。次いで、中国代表団歓迎夕食会“日中交流の集い”は、60余名の支援者、会員のご参加を得て暖かく盛り上がり、和気あいあいの日中交流、日々交流の機会となりました。

若々しい俞副主席は、「日本の皆さんの熱い真心に感謝と敬意を表するとともにその精神に学び、

いっしょに活動したい」と挨拶されました。

劉前副主席は、退任後も貧困地区の子どもの就学問題に引き続き取り組みたいと述べられました。王丹丹さんは、日本及びアジア担当としての15年間を振り返り、「日本の皆さんの友情に感謝し、真摯なサービス精神に敬意を表します」と言われました。

“日中交流の集い”のプログラムの中で、四つのプロジェクト—幼稚園建設・図書コーナープレゼント・新華字典及び洋裁機器寄贈—より、総額580万円の寄贈目録が中国宋慶齡基金会に贈呈されました。

21世紀元年には、これらの初穂をもってプロジェクトを実現したいと思います。日中民間人共同の活動を通して、子どもたちに希望を、人々に友情を育むことができることを願い、ご支援下さる皆様心から感謝いたします。



宋慶齡基金会JCC

日本の友人のみなさまへ

中国宋慶齡基金会 劉 啓 林

宋慶齡日本基金会は、16年の輝かしい足跡を残し、閉幕しました。人々は、中日友好と次世代の健全な成長に関心を抱き、努力された尊敬すべき友人たちのことを永遠に忘れることがないでしょう。

同様に、中日友好事業と次世代の健全な成長に心を寄せて下さる友人たちにより、日中共同プロジェクト委員会が組織され、新しい歩みを始めました。この委員会には、日本の教育界、実業界、婦人界及び各種団体と地方議会等の影響力ある方々が参加されています。これらの友人は、多年来人類の平和と発展のために、中日両国人民の友誼のために大量の心血と汗水を注いでこられました。彼らとの交流の中で、私は彼らの崇高な精神と実践に深く感動しました。

中国は発展の不均衡な国家です。現在中国西部地区の経済は比較的遅れています。その事は当地の教育事業の発展を著しく妨げています。当地の青少年の中には、貧困、宗教、風俗等多くの原因で、今でも当然の基礎教育すら受けることが出来ない人々がいます。

日本の友人たちが中国西部の寧夏回族自治区の



俞貴麟 副主席（左）と劉啓林 前副主席（右）を迎えて

教育事業を援助し始めて7年になります。友人たちは不断の努力により、様々な形で、5万名余の貧困児童に対して実際的な援助を与えてきました。私は、草の根に根ざした日中共同プロジェクト委員会の活動が、中国の貧困児童に手を伸ばし、教育を受ける機会を得させて下さるものと信じています。

さらに重要なことは、子どもの時に、彼らが、普通の日本人が彼らのことを心にかけて、援助をしてくれたと感じていることであり、そのことが彼らの人格の健全な発展を促進することです。

人類はすでに21世紀を迎えました。友人のみなさまが、中日両国人民の友好事業のために為される貢献は、実に尊敬に値します。

宋慶齡基金会とは

宋慶齡基金会は、教育・文化を通して子どもたちに希望を与え、国際交流を通して相互理解を深め、平和のいしづえを着実に築いていくことを目指して具体的に実践していく会です。

それは、1981年に中国名誉国家主席として逝去された孫文夫人宋慶齡さんが、生涯を通じて、人々を貧苦から救うこと、子どもたちに知識と文化を与えることに心を砕き、国際的には反ファシズムと平和のために闘ったことを記念する事業です。

1924年、宋慶齡さんは孫文先生とともに神戸で日本人に対して「アジアの近代化と平和のためにも手を携えて進みましょう」と呼びかけられましたが、その後の20年間、日本はそれに応えることが出来ず、大きな傷跡を中国をはじめアジア各地に残しました。私どもはいまなおそのことに思いを致し、JCCの活動を通して平和への努力に微力を尽くしたいと思っております。

プロジェクトの進行状況

I 幼稚園建設支援

東北農業大学幼稚園園舎増設(多目的ホール等)

黒龍江省ハルビン市

目標額：500万円 現在額：485万円

★15年前に同大学職員学生の子女のために開設されたものですが、最近一般市民の子どもたちも受け入れ、この増設が成ればその枠がさらに拡大されるとのこと。また、この地域における実験的モデル的役割を果たすことになる。現在提案を検討中。固まれば、4月着工、8月末竣工の予定。

II 小学校就学奨学金給付

目標額：90万円 現在額：20.3万円

★日本から吉林省の小学校への奨学金援助は、日本と中国を結ぶ会の活動として'96年から昨年までに13校、599名に行われてきた。昨年JCCから現地へ送金した奨学金10万円(人民元換算約7,200円)の用途は以下の通り。

- (1) 吉林省永吉経済開発区の小学校13校に在籍する100名の児童に対し、奨学金として1人あたり年間50元ずつ支給。
- (2) 残額については現地の学校の要請に基づき、体育器具配備のために、13校に各200元ずつ支給。

吉林省へは本年から3年間1人あたり1,000円の奨学金と、教具配備資金の継続支援を予定。河北省へも本年から同様の奨学金支援を計画中。

III 図書コーナープレゼント

目標額：400万円 現在額：62.1万円

★新年早々図書コーナーの贈り先が決定し、早速56万円を中国宋慶齡基金会宛送金した。贈り先は、下記の7ヶ所。

○寧夏回族自治区

銀川市第21小学校 銀川市第20小学校

中寧県白馬完全小学校 石嘴山市第六小学校

呉忠市利通区教育局

○吉林省 永吉県経済開発区中心小学校

○黒龍江省 北安市図書館

IV 寧夏教育支援

○小中学校建設支援等

1997年330-A地区(東京)ライオンズクラブ(以下LCと略称)が寧夏回族自治区の貧困区に三つの学校を建設し、奨学金を給付するなど教育支援を始めました。ところが、LCは単年度事業を基本としますので年度後のフォローができません。この枠を超えて教育支援を継続しようと結成されたのが京友会です。

今年度は、再度330-A地区LC(小坂哲郎ガバナー)が寧夏教育支援に取り組み、女子中学1校と小学校2校を建設いたします。京友会は全面的にこの事業に協力しています。京友会は、LCの事業期間が終了した後またそれをフォローして支援を続けるつもりです。継続の大切さを考え、支援を点から面に発展させるために努力していくつもりです。

京友会会長 中島 洋吉



京友会の寧夏小学校視察

○女子職業教育センター支援

1997年、日中国交正常化25周年記念事業として日中友好神奈川県婦人連絡会は、寧夏回族自治区の西吉県興隆回族女子職業教育センター建設を支援する募金活動を行い、教室一棟とミシンなどを贈りました。同センターの生徒たちは、熱心に技術習得に励み、卒業生は商店主になったり、就職したり、後進の指導にあたるなど、女性の自立に大いに役立っています。センターでは、第19期目の生徒の養成が始まり、引き続き支援を希望しているため、その要望に応じて、今回「高温定型型抜きプレス」(1万円)を贈りました。

日中友好神奈川県婦人連絡会 番場 明子

宋慶齡基金会JCC主催 チャリティー映画会

“あの子を探して”

ヴェネチア映画祭グランプリ受賞



この映画は、俳優が一人も出ていません。現地の子どもたちが生き生きと出演しています。河北省僻地の古いオンボロ小学校で、十三歳の女の先生が、街に出稼ぎに行き、迷子になった腕白生徒を探しに行く物語です。貧しくてもたくましく、大人に頼らず目的に向かって、自力で生きる子どもたちの笑いと涙の中に、人ひとりのかけがえのなさ、お金よりもっと大切な優しさのあることを訴えている、チャン・イーモウ監督の傑作です。

広大な中国の大地に息吹くたくましさに圧倒さ

3月24日(土) 八王子市クリエイティブホール5F

開演時間 11:00/13:30/16:00/18:30

上映協力券

大人: ¥1,200 高校生以下: ¥1,000

れつつ、いつの日か、日中の子どもたちの楽しい交流の実現を夢見て、映画会を開催します。

映画の収益金は、河北省の子どもたちに奨学金として贈ります。



後援: 八王子市・八王子市教育委員会

連絡先: TEL/FAX 0426-46-4210 JCC事務局
0426-61-2107 荒川

JCC活動日誌 2000年7月15日~2001年2月17日

2000年

- 7月15日 第12回事務局会議 / “为了明天” 第1号発行
- 7月-8月 青山「こどもの城」児童合唱団の訪中活動に協力
- 8月19日 第13回事務局会議
- 8月25日 上海宋慶齡基金会・中国福利会代表团(艾柏英・陳白樺・袁超群) 歓迎夕食会: 日比谷松本楼
- 8月27日 上海宋慶齡基金会・中国福利会代表团と「こどもの城」15周年“ハッピーバースデーコンサート”を鑑賞、昼食会
- 9月16日 第14回事務局会議
- 10月20日-23日 330-A地区LC(ライオンズクラブ)、寧夏西吉県女子中学校校舎建設支援のため、現地視察
- 10月21日 第15回事務局会議
- 11月 2日 330-A地区LC、西吉県女子中学校建設基金250万円送金

- 11月 4日 臨時事務局会議
- 11月11日 宋慶齡日本基金会閉幕式
- 11月12日 京友会、中国宋慶齡基金会金貴麟副主席・劉啓林前副主席を迎え歓迎夕食会: 浅草中島むぎとろ本店
- 11月13日 第2回拡大世話人会及び“日中交流の集い” 会副主 席・劉前副主席・王丹丹主任出席、京王プラザホテル八王子
- 11月14日-15日 日中箱根交流: 劉・王両氏参加
- 12月16日 第16回事務局会議
- 2001年
- 1月 5日 図書コーナー7セット分56万円、高温定型型抜きプレス器代14万円を送金
- 1月 9日 寧夏・固原県老庄小学校校舎建設協定書四者調印
- 1月20日 第17回事務局会議
- 2月17日 第18回事務局会議 / “为了明天” 第2号発行

会計報告 2000年12月31日

会費種別	募金目標額	達成額	支援者数	事業実施額	積立額	備考
						2001/1/31 現在額
幼稚園建設	5,000,000	3,840,000	延 58人	0	3,840,000	4,850,000円 積立
奨学金援助	300,000	325,000	延 78人	131,000	194,000	203,000円 積立
図書棚寄贈	800,000	621,000	延133人	0	621,000	560,000円 送金実施
維持会費他	2,000,000	2,013,558	延150人	824,615	1,188,943	1,164,943円 残額

※プロジェクトNの会計は、それぞれの団体で独自に行われています。

編集後記

新しい世紀の開幕!! 世界も日本も不安条件の多い中で、JCCは、一生懸命小さな草の根を育てようと、大きな希望に胸をふくらませています。皆様の暖かい友情に支えられ、ご協力に感謝しながら、着実に一步一步あるいていきます。今年もよろしくお願ひ致します。

ニュース「为了明天」に、維持会員その他ご寄付を頂いた皆様のお名前を掲載させていただきたいと思いますが、ご都合の悪い方はご一報下さい。

「为了明天」No.2

2001年2月17日発行 題字: 周 尚
 発行者: 宋慶齡基金会 日中共同プロジェクト委員会
 〒192-0081 東京都八王子市横山町20-8
 TEL/FAX0426-46-4210
 郵便振替: 00170-2-152423
 三和銀行八王子支店(普通) 5182198